



たけだ正光県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

土地区画整理事業

1月中に計画変更案を縦覧

事業期間を7年延伸へ

流山市選出で4期目の武田正光(たけだまさみつ)県議は、自民党の中堅議員として活発な議会活動を展開し、12月定例議会でも一般質問に登壇しました。この中で武田県議は、つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業について、「運動公園周辺地区」の事業計画の見直しと計画変更の内容などを質問。森田知事は、緑地保全の範囲を拡大するほか、事業期間についても、令和11年度まで7年間延伸したいなどと説明しました。また、自民党の児童虐待防止対策プロジェクトチームの座長を務める武田県議は、虐待防止に向けて、改めて児童相談所の増設などを求めました。武田県議の主な質疑を特集します。

緑地保全の範囲拡大

武田議員 つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業は、千葉県が施行する「運動公園周辺地区」について、今年2月議会の私の質問に対し、当局からは、地元流山市から「更なる緑地保全」の要望を受け、土地利用計画の見直しについて、流山市と調整を行っているとの答弁でした。

県は、緑地保全等の見直しとともに、整備スケジュールを早期に整え、必要な事業計画の変更を進め、今後の整備展開を早急に地権者に示すべきだと考えます。そこで伺います。

運動公園周辺

地区の事業計画の変更について、変更案の内容と手続きの進捗状況はどうか。

森田知事 変更案の主な内容としては、土地利用について、流山市の要望も踏まえ、地区南側の斜面緑地の保全範囲を拡大するほか、一部の区画を大型街区とする計画としています。

併せて、事業期間については、地権者との移転補償の協議に期間を要したことなどから、令和11年度まで7年

幹線道路の進捗状況

武田議員 運動公園周辺地区の幹線道路の進捗状況と今後の取り組みはどうか。

都市整備局長 地区内の幹線道路10路線のうち、暫定整備の区間を含め、5路線が全線にわたり供用済みで、残る5路線も完了した区間から順次供用して

問延伸したいと考えています。また、事業費についても、建設コストの上昇などにより、約143億円増やす必要があり、新たな国の交付金を導入することで、県の負担を極力軽減することとしています。

進捗状況については、これまで国や流山市と協議を進めてきたところであり、今月中に、地権者の皆さまに説明を行うとともに、来月中を目途に変更案の縦覧を行うなど、関係法令に基づき、手続きを進めてまいります。

残る5路線のうち、都市計画道路中駒木線及び加市野谷線の2路線については、暫定整備の区間を含め、今年度末の全線供用を目指して、整備を進めています。

三郷流山橋の進捗状況

武田議員 (仮称)三郷流山橋は、現地で工事が実施されている状況を見るたびに、早期完成への期待が高まっています。三郷流山橋の進捗状況はどうか。

県土整備部長 (仮称)三郷流山橋は、江戸川渡河部については、昨年度から橋脚工事に着手しており、特に千葉県側取付部では、これまで用地の取得を完了

また、都市計画道路新川南流山線などの3路線について、地権者の協力がいただけよう丁寧な説明に努めるとともに、交渉が長期化している地権者に対しては、一定の期限を設けて積極的に交渉を進め、早期の全線供用開始に向け、しっかりと取り組む

運動公園周辺地区は、令和11年度までの7年間、期間を延伸するという答弁ですが、何としてもこの時までに確実に完成していただきたい。工事が進まず、生活設計が立たないという地権者からの不満が多数あります。質問のたびに要望していますが、とにかく定期的に地権者を回ってほしい、信頼関係を構築していただきたい。



(仮称)三郷流山橋の工事現場を視察する武田県議

要望 現場では、さまざまな工事が同時に行われており、業者も多数入っている中で、工程管理をきめ細かく時間のロスがないようにしていただき、令和4年度の着実な完成をお願いします。

また、流山から橋を渡った先の道路整備について、早くから埼玉県に要望、働きかけをしてもらいたい。道がなかつてこの橋ですので、よろしく願います。

今後とも、埼玉県及び埼玉県道路公社と連携し、地元流山市の協力を得ながら、令和4年度の工事の完成を目指し、整備を進めてまいります。

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

たけだ正光 県議事務所

〒270-0163
流山市南流山4-1-8-1105
TEL.04-7159-0518
FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 検索

<http://www.takeda-hashiru.com>

児童相談所 管轄区域の見直しと増設へ

県有未利用地の活用を提言



壇上から森田知事に語りかける武田県議

武田議員 先のが党の代表質問において、「児童相談所の管轄区域の見直しを図るべきと思うがどうか」との質問に対し、県当局から「県全体の管轄区域の見直し計画づくりに着手する」との答弁がありました。

そこで伺います。児童相談所の管轄区域の見直しと併せて、児童相談所の増設の検討が必要と考えるがどうか。

森田知事 児童相談所の管轄区域の見直しや増設については、9月定例県議会ですべて「千葉県子どもを虐待から守る条例」の改正に当たり、管轄区域の早急な見直し及び児童相談所の増設を求める附帯決議が付されました。

また、11月25日に出された児童虐待死亡事例検証報告書でも、早急に児童相談所の管轄区域の見直しに着手し、児童相談所の増設を中長期的な視点で将来を見据え、検討するよう提言をいただいたところです。

県としては、これらを重ね受け止め、児童相談所の管轄区域の見直しを踏まえ、増設についても総合的な観点から早急に検討を進めてまいりたいと考えています。

業務執行強化プラン

武田議員 児童相談所の現場の業務改革について伺います。虐待件数の増加などにより、現場職員の負担が増大している中、二度と野田市のような事件を起こさないためにも、職員の負担軽減や効果的な関係者間の情報共有が出来る仕組みの構築に取り組んでいかなければなりません。

「児童相談所の業務執行体制強化プラン」について、委託業者からどのような提案があったのか。

総合企画部長 現場職員からのヒアリングを行った結果、連絡手段が主に電話やメモであることによる情報連携の遅れや、ケースの進捗管理、面接記録の作成、会議の開催、研修の実施などの事務負担が増大しているといった課題が明らかになりました。

健康福祉部長 県の6カ所の児童相談所の敷地面積は平均で約3400平方メートルほどですが、虐待相談対応件数や時保護児童の増加状況を鑑みると、建替えや増設に当たっては、用地の確保が非常に重要な課題になるものと認識しています。

県としては、未利用県有地の積極的な活用も検討し、スピード感をもって進めてまいりたいと考えています。

松戸野田線の4車線化

武田議員 県道松戸野田線の流山市南以北の4車線化が必要と思うがどうか。

県土整備部長 県道松戸野田線は、松戸野田有料道路の無料開放に伴い交通量が大幅に増加し、流山市南交差点や運河大橋付近において、朝夕を中心に交通混雑が発生しています。

また、沿線では大型物流施設が相次ぎ立地しており、今後、更なる交通需要が増大が見込まれています。

このため県としては、今後の交通動向等も踏まえ、交通の円滑化に向けて必要となる対策を検討してまいります。

生活保護の不正受給

武田議員 生活保護は、その財源が全額公費によって賄われていることに鑑み、制度に対する信頼性を確保するためにも、不正事案防止に向けて、しっかりと取り組むことが必要です。

本県における生活保護の不正受給の状況及び防止に向けての取り組みはどうか。

たけだ正光県議 プロフィール

- 経歴
- ・S44 8月生まれ
 - ・S57 流山市立八木南小卒業
 - ・S60 流山市立八木中卒業
 - ・S63 専修大学松戸高校卒業
 - ・H4 中央大学商学部卒業 公認会計士
 - ・H19 千葉県議会議員選挙初当選
 - ・H23 2期目当選 県土整備常任委員会委員長
 - ・H25、26 環境生活警察常任委員会委員長
 - ・H27 3期目当選
 - ・H30 予算委員会副委員長
 - ・H31 4期目当選
- 現職
- 自民党千葉県連青年局 相談役
児童虐待防止対策プロジェクトチーム座長

要望 平成30年度は、県と28市で就労支援員が配置されていますが、この就労支援員がより多くの市に配置され、一人でも多くの方が生活保護から自立できるように取り組みを進むことを要望します。



身を乗り出して答弁を聞く武田県議

健康福祉部長 平成30年に明らかになった不正受給の件数及び金額は、政令市である千葉市を除き、1221件、5億6971万円であり、前年度と比べると126件、2158万円の減少となっています。

不正受給の主な内容は、稼動収入の無申告や過小申告が700件、各種年金等の無申告が316件であり、この二つで全体の8割以上を占めています。

県では、不正受給の防止に向け、各福祉事務所に対して●制度の趣旨や収入があること、●定期訪問を行い、生活実態を十分に把握すること、●課税調査を通じて受給者の収入の状況を把握することなどについて、監査や研修会で指導しているところです。